医療法人 康仁会
西の京病院
メディカル最前線
vol.70
心 最高の設備 技術
最前線医療を行く

外科・消化器外科・肛門外科

おしりの悩み、すっきり解消！
「痔」の日帰り手術も可能に

おしりを診察される恥ずかしさや治療に対する不安から人知れず悩み、市販薬などで凌いで受診を先延ばしにし、逆に悪化させている人も多いという「痔」。的確な診断と治療で患者の苦痛を軽減している西の京病院の岡内博外科部長と・髙城武嗣副部長の両先生に、病気の正しい知識と負担の少ない日帰り手術について話を伺った。

痔は大きく3タイプ

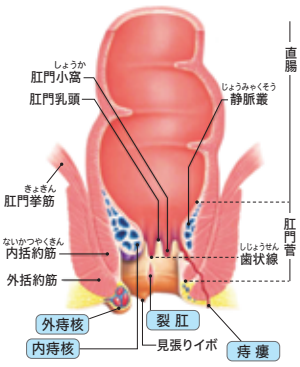
内痔核なら日帰り治療が可能

痔の種類は大きく分けて「痔核」「裂肛」「痔瘻」の3タイプがあり、痔核は男女共に半数を占め、男性には痔瘻が、女性には裂肛が多い。

治療法は、規則正しい排便習慣や食生活の改善などの生活療法が基本。

症状が軽い場合は、外用薬（座薬・軟膏）や内服薬を用いる薬物療法を行うが、病状が進んでいる場合は手術療法を行う。

【直腸肛門部の図】



※西の京病院肛門外科のHPから

日帰り治療―硬化療法 ALTA（アルタ）療法

仕事への支障も軽減

痔核（いぼ痔）は、おしりの血行が悪くなり、血管の一部がこぶ状になったもの。初期は出血が起きる。

歯状線より上（内側）にできたものを「内痔核」、下（外側）にできたものを「外痔核」と呼ぶ。

痔核が脱出し、それが戻りにくくなったら手術が必要で、手術には**硬化療法**や結紮切除術（数日の入院）等があり、「**内痔核**」なら注射するだけの**日帰り治療（ALTA療法）**も可能だ。

硬化療法ALTA…内核痔に流れ込む血液の量を減らし、痔を硬くして粘膜に癒着・固定させる治療法。切り取る手術と違い、局所麻酔で痔核への注射なので、**処置時間は20～30分**。事前検査や投与後の安静時間（麻酔が冷めるまで）を含めても**3時間程度**なので、仕事で休みを取りにくい人などに好評だという。

土曜日に受診・治療で日曜は自宅静養♪

外痔核・裂肛・痔瘻とその治療

外痔核…血栓（血の塊）ができ、腫れて痛む。薬で治るが大きく痛みの強いものは、血栓を取り除くか手術する。

裂肛（切れ痔）…硬い便の通過で肛門の皮膚が切れたり裂けたりしたもの。排便時に痛みがあり、少量の出血がある。進行すると排便後にも痛みが続く。**痔瘻**になったり肛門が狭くなったりすることもある。手術には括約筋切開術や肛門皮膚移動術がある。

痔瘻（あな痔）肛門周囲膿瘍…肛門の奥から細菌が入り、肛門周囲が化膿したもの。周りに膿がたまり、それが外に流れ出るトンネルができてしまった状態で発熱や痛みを伴う。

痔瘻は薬では治らず、化膿を繰り返すうちに**がん化**するものも。手術には瘻管開放術、瘻管切開術、痔瘻結紮療法等がある。

要注意
市販薬にも期待はできるが、肛門や直腸、結腸のがんのほか、クローン病や潰瘍性大腸炎など、見逃してはいけない病気の可能性もあるので、専門医院で早めの受診を受けよう♪

予防と再発防止

規則正しい排便習慣
食物繊維や水分をとり、便意を我慢せず、いきみは3分以内。香辛料やアルコールを控える。

おしりを清潔に
温水洗浄式便座を使う。水圧弱め・ぬるま湯で洗浄後はよく乾かす。

洗い過ぎはNG！

おしりをいたわろう
体を冷やさず、お風呂で温まり血行をよくする。過労やストレスを避け、長時間同じ姿勢をとらない。

座りっぱなし、立ちっぱなしは肛門がうっ血しやすいので2時間おきにストレッチなど、血行を改善しよう！

触診でがんを見つけたこともあります。

痔は命にかかわる病気ではないですが、早期ほど治療も楽です。治療を受けて「世界が変わった♪」という声も聞きますよ。

先生のコメント
一言で「痔」といってもどのタイプに当たるかは診ないとわからず、治療法も異なります。がんのような病気が隠れていることもあります。早期に治せば、それだけ悩みも短期間で済みます。実は僕も若い頃、手術しています！